

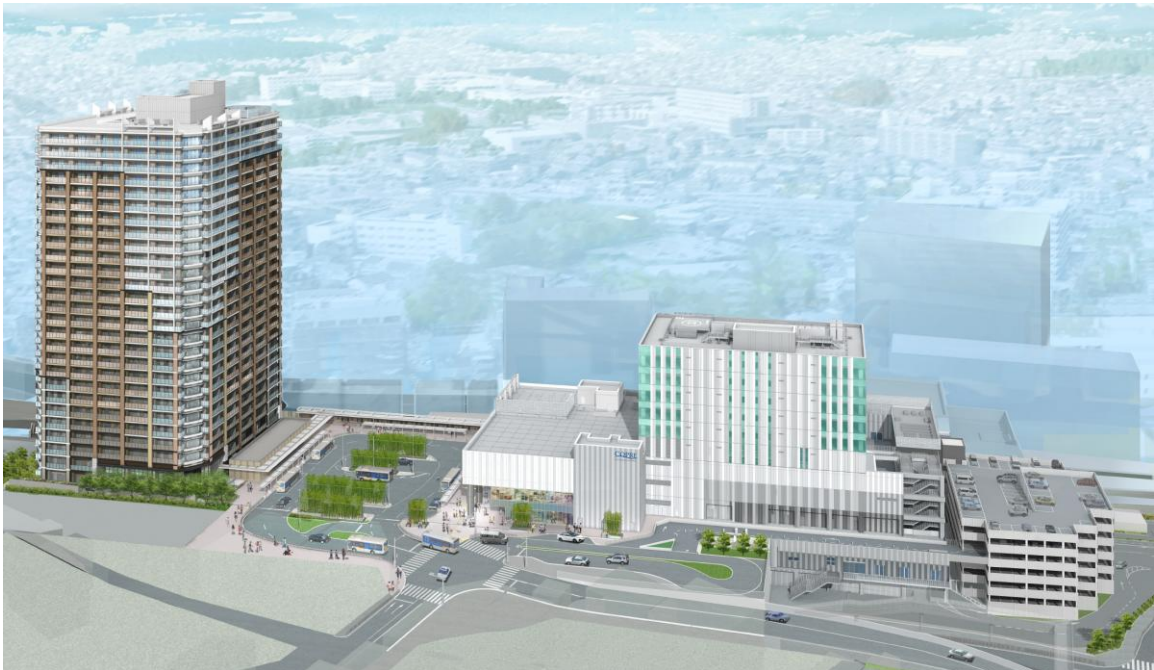
2018年3月に竣工 二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業 施設名称を「COPRE（コプレ）二俣川」に決定

二俣川駅南口地区市街地再開発組合

二俣川駅南口地区市街地再開発組合（理事長・鈴木昭彦）では、横浜市旭区二俣川駅南口エリアにおいて進めている二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業の施設建築物（建物）の名称を、この度「COPRE（コプレ）二俣川」に決定しましたのでお知らせします。

本事業は、拠点にふさわしい交通広場や道路等の公共施設の整備を図るとともに、土地の合理的かつ健全な高度利用により商業・業務施設、都市型住宅、公益施設の機能導入を図り、魅力あるまちを形成することを目的として、2011年（平成23年）10月に都市計画決定、2012年（平成24年）12月に事業を開始し、2018年（平成30年）3月末の建物竣工を予定しています。

「COPRE（コプレ）二俣川」は、地上29階の住宅棟「グレースシアタワー二俣川」、地上11階の商業業務棟、5層6段の駐車場棟などからなる複合施設となります。商業業務棟は、相鉄グループが運営する商業施設「JOINUS TERRACE（ジョイナス テラス）二俣川」、認可保育園、公益施設（地域ケアプラザ）、クリニックモール、オフィス等からなり、駅利用者や近隣住民の方々に幅広くご利用いただける施設を目指しています。



「COPRE（コプレ）二俣川」完成予想パース

■事業概要

名称	二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業		
施行者	二俣川駅南口地区市街地再開発組合		
施行地区面積	約1.9ha	建築延面積	98,633㎡
規模	地上29階	高さ	99.30m
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造		
主な用途	共同住宅、店舗、業務・サービス施設、駐車場等		

■建物名称に込めた思い

二俣川駅は、相鉄本線といずみ野線が分岐する交通結節点で、横浜市内の主要駅のひとつとなります。二俣川駅周辺には、こども自然公園や県立がんセンター等の公共公益施設が多数立地しており、穏やかな環境と利便性の両立したエリアとなります。

「COPRE（コプレ）二俣川」は、Core（コア：中核）＋Place（プレイス：場所）、Copresence（コープレゼンス：共存）から付けた名称で、「街の中核となり、人や街が、ここから始まる」、「自然との共存や、人との共存によって、人と人、自然と都市がここからつながる」という思いを表現しています。

■ロゴデザイン

落ち着いたある緩やかな曲線や上品な書体を用い、安心感や信頼ある佇まい、「COPRE（コプレ）二俣川」の居心地の良さを表現しています。

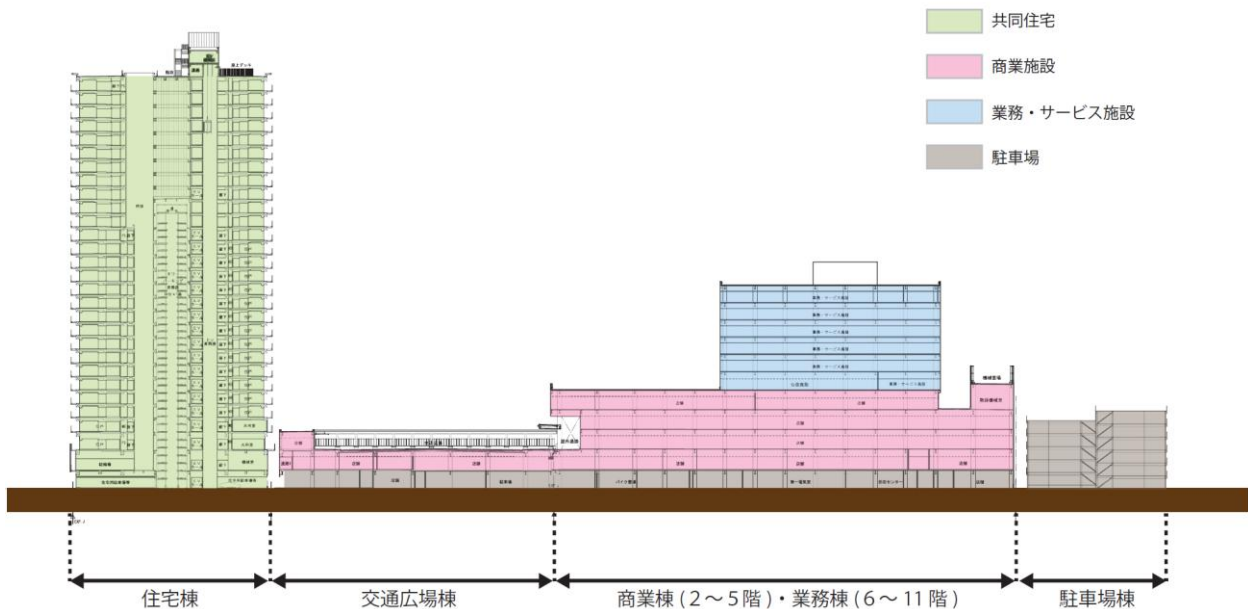


※ネーミング（COPRE・コプレ）およびロゴデザイン（COPRE）は、現在、商標出願中となります。

■施設のポイント

- ・敷地面積約 17,400 m²に西側から、高さ 99.3m29 階建の免震構造の住宅棟、中央には、約 4,400 m²（鴨居上飯田線上部含む）の交通広場、東側には、高さ約 50m11 階の商業・業務棟と 5 層 6 段の自走式駐車場からなる延床約 98,600 m²の施設建築物。

■「COPRE（コプレ）二俣川」 施設建築物断面図



※事業概要をウェブサイトでも紹介しています。(<http://www.futamata-minami.jp/>)